

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立住之江会館
施設所管課・担当	住之江区役所協働まちづくり課（担当：家熊、松本）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感にあふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1) 貸館運営業務 (2) 徴収事務委託契約に基づく使用料徴収及び収納事務 (3) 施設総合管理業務
成果指標	(1) 利用率 (2)満足度
数値目標	(1) 62.5% (2)80.0%
指定管理者名	株式会社ハウスビルシステム
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日
評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用率	満足度
数値目標	62.5%	80.0%
年度実績	53.3%	89.4%
達成率	85.3%	111.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	47,935	48,330	-395
稼働率	53.3%	51.9%	1.4%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	15,350,000	15,350,000	0	
	計画	15,350,000	15,350,000		
利用料金収入	実績	4,163,040	3,004,580	663,040	自主事業から個人主催利用への変更による施設利用料の増
	計画	3,500,000	3,500,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	7,801,220	10,131,000	1,001,220	計画以上の自主事業講座を実施したことによる増
	計画	6,800,000	4,000,000		
合計	実績	27,314,260	28,485,580	1,664,260	
	計画	25,650,000	22,850,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,183,768	12,542,157	90,768	最低賃金増による人件費増
	計画	13,093,000	13,082,129		
物件費	実績	7,909,919	10,161,284	113,719	電気料金増による増
	計画	7,796,200	5,894,731		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	4,892,810	5,287,898	132,010	計画以上の講座を実施したことによる講師謝礼等の増
	計画	4,760,800	3,873,140		
合計	実績	25,986,497	27,991,339	336,497	
	計画	25,650,000	22,850,000		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率	85.3%	C	利用率は微増ながらも増加傾向である。
満足度	111.8%	A	利用者のニーズに沿った運営を行っている。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
廊下の照明の点灯を利用者が不在の場合には消灯するなど、電気代の節電に尽力している。	B	こまめに消灯を行うなど経費の縮減を意識し、取り組んでいることが評価できる。

（3）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	A	施設の不具合等すみやか修繕等を行い、区役所への報告も迅速であった。また、災害を想定した訓練を本社と合同で行うなど、災害時対策に重点的に取り組んでいる。
	事業計画の実施状況	B	最寄り駅にチラシを置くなど利用率向上に向けて努力を行っている。
	施設の有効利用	A	住之江図書館、住之江老人福祉センターとの複合施設であることから、定例会を行うなど各施設と連携・調整しつつ、迅速かつ適切な施設の管理運営を実施した。
社会的責任・市の施策との整合性		B	コミュニティ活動の振興、地域における文化の向上及び福祉の増進を図る本市施策と整合していた。

5 利用者ニーズ・満足度等

利用者アンケートによる満足度調査では常に高い水準を維持しており、利用者のニーズに沿った運営を行っている。 利用者への接遇面においては、積極的なコミュニケーションを図ることにより、良好な関係づくりに努めている。また、利用に係る事故や利用者との大きなトラブルもなく、安定した管理運営を実施できている。

6 外部専門家意見

・アンケートを基にした新たな自主事業の開設など評価できる。 ・利用率の改善に向けて、複合施設の利点を生かした活用の検討を望む。 ・利用率の数値目標をコロナ以前の状況となるよう新たな顧客層の開拓、利用形態の検討を望む。 ・個人主催利用などによる利用増など評価できる。 ・前年度の課題・対策・成果・検討・展望及びアンケート内容について明記いただきたい。
--

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		C	昨年度実績は上回ったが、利用の低迷が続いており、成果指標の達成が非常に難しい状況であった。
市費の縮減		B	こまめに消灯を行うなど、細かな面でも省エネに務め、経費の縮減を意識し、取り組んでいる。
管理運営の履行状況		B+	利用の低迷が続いているが、利用率向上を図るため、様々な対策を行っている。また、複合施設環境にあって、各施設の相互活性化のため、効果的な連携に取り組んでいる。
	施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	